

バンクーバーBreak the Shellプログラムについて

Q. プログラムはどこで行われますか？

プログラムは主にブリティッシュコロンビア大学（UBC：University of British Columbia）で行われます。UBCは、メインキャンパスが、カナダ西部のバンクーバーに位置する、約160の国から集まった70,000人以上の学生が在籍する国際性と多様性が際立つ名門州立大学です。UBCは研究活動にも力を入れており、年間約7億7千万ドルの予算が1万件以上のプロジェクトに投資されています。これにより、多くのスピノフ企業が誕生しており、実践的な学びを通じて学生たちが未来のリーダーとなるための土台が築かれています。



（ブリティッシュコロンビア大学の時計塔）

Q. 英語力はどの程度必要でしょうか？

Break the Shellプログラムは、学校の英語の授業や課外活動で英語でのディスカッションやプレゼンテーションの経験があれば、よりスムーズに取り組めます（英検準2級以上推奨）。ただし通常5日間のセッションプログラムが多いところ、このプログラムは3日間なので、初めてBTSに参加する生徒さんにもお奨めです。午前のワークショップでは、グループリーダー（UBC生）が参加者5～6人程度に一人つき、ディスカッションテーマやアイデアの理解を手助けしたり、参加者が何か発表しようとするときの表現の仕方などもサポートします。

Q. 食事はどのようにとりますか？

このプログラムは、BTSでもめずらしいホームステイプログラムです。ランチはホームステイ先でファミリーに用意してもらったり、ファミリーに教えてもらい自分で用意したりしたランチを持参します。



Q. プログラム監修のキム博士ってどんな人？



講師：ヒョシン・キム 博士 Hyoshin Kim BA, MA, EdD

ソウル・イファ女子大学を卒業後、ハーバード大学にて大学院、教育博士号を取得。在学中より、教育研究機関にて教育者向け指導カリキュラム、またビジネス向け教育カリキュラムやセミナーを運営。UBCを初め、カナダの高度教育機関、政府、NPO、大手企業などにおいて30年以上教育者としての経歴を持つ。

（※左写真はUBCでのキム博士の講義の様子）

Q. 異文化理解ワークショップで学べることは？

言葉とコミュニケーション

まず、英語をどんどん使いましょう！友達や新しい人と話すとき、自分の気持ちや考えをしっかりと伝える能力も必要です。積極的にコミュニケーションを取る姿勢が、国際的な関係を築く第一歩になります。ワークショップでは参加者同士が積極的に対話を行っていきます。

異文化理解と柔軟性

異なる文化や価値観を理解し、受け入れることを学ぶことによって、自分の文化だけでなく、他の文化も大切にすることでより広い視野を持つことにつながります。またその違いを楽しむことができる柔軟さも一緒に学んでいきます。

グローバルな視野

このワークショップでは、異文化理解を深めるための具体的な手法も学びます。カルチャーマッピングなどのアプローチを用いて、自分自身と他者の文化的背景を視覚的に見ていきます。ニュースや国際的な出来事に関心を持ち、周りの世界について考える力が育まれます。自分の目で見て感じることで、より深い理解が得られます。

協調性と適応力

異なる環境や状況にうまく適応しながら、仲間と一緒に目標を達成するためのバランス感覚も大切です。ワークショップでは、チーム内で協力することにより、協調性、問題解決能力が高まります。参加者はお互いのアイデアを引き出し合いながら、共同で課題に取り組むことで、信頼関係や協調性を育むことができます。